



子どもたちの
未来を拓く
環境づくり



笑顔があふれ、
人が躍動する
スポーツ先進
都市の創造

令和5年度 施政 方針



地域経済の
回復に向けて



ヒト・モノ・情報を
呼び込む、真栄里地区での
新たなまちづくり



緊急事態に備え、防災・減災に取り組む

「第5次糸満市総合計画」の3年目がスタート
～新たな未来を描き、今を充実していく予算～



《基本理念》

「ひかりのまち」 果てしない希望を抱き飛躍的前進を目指すまち

「みどりのまち」 自然を保護し健康で快適な住みよいまち

「いのりのまち」 平和を願い情操豊かな明るいまち

《糸満市の将来像》

つながりを深めチャレンジするまち糸満市

《目次》

はじめに	1
基本姿勢	3
重点施策	4
（１）子どもたちの未来を拓く環境づくり	4
（２）笑顔があふれ、人が躍動するスポーツ先進都市の創造	5
（３）緊急事態に備え、防災・減災に取り組む	5
（４）ヒト・モノ・情報を呼び込む、真栄里地区での新たなまちづくり	6
（５）地域経済の回復に向けて	7
主要施策	8
（１）安心して産み育て、学び、文化・スポーツに親しむ糸満市	8
（２）市民みんなが心身ともにすこやかに暮らす糸満市	9
（３）支え合って共に生きる平和のまち・糸満市	10
（４）きれい！暮らしやすい！住みたいまち・糸満市	11
（５）豊かな資源をいかし、活気にあふれた糸満市	13
（６）人と人の輪がつながり、みんなで動かす糸満市	14
結びに	16

本日ここに、令和5年第2回糸満市議会定例会が開会され、令和5年度一般会計予算をはじめとする各議案のご審議をお願いするに当たり、私の市政運営に向けての所信の一端と、重点・主要施策の概要についてご説明申し上げ、市議会ならびに市民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

◇はじめに

はじめに、去年は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響に加え、急激な円安やウクライナ危機を発端とする原油価格や物価の高騰などが、市民生活や経済活動に深刻な影響を及ぼしました。

そのような状況の中、私は「市民のいのちと暮らし、雇用・地域経済を守ること」を最優先課題として、保育や学校などの感染症対策をはじめ、子育て世帯を対象とした給付金のほか、プレミアム商品券の発行や物価高騰の影響を受けた市内事業者への支援などさまざまな対策を講じてまいりました。引き続き、国や県の動向を注視しながら、ウイズコロナ、アフターコロナを見据えた施策を展開し、感染対策と社会経済活動の維持の両立に努めてまいります。

去年は、沖縄県が本土復帰を果たしてから50周年の節目の年でありました。

沖縄県においては、新たな沖縄振興計画が策定され、沖縄振興の今後10年の方向性が打ち出された同計画に基づき、沖縄の自立的発展を目指した各種施策が展開されていくものと期待されます。

一方で、沖縄振興予算は2年連続で減額となっております。このことは、本市においても影響があることから、総合計画に掲げるさまざまな施策について、創意工夫を持って推進していかなければなりません。

本市の状況を振り返りますと、コロナ禍で開催が延期されていた「市制施行50周年記念式典」や「美ら島おきなわ文化祭2022」の関連イベントのほか、「世界のイチマンチュ大会」や「糸満ふるさと祭り」など多くのイベントを開催し、市民の交流やまちのにぎわいづくりに取り組みました。会場では、たくさんの喜びや笑顔があふれ、あらためて人と人のつながりの大切さを感じた次第であります。

また、市民待望の観光文化交流拠点施設「シャボン玉石けん くくる糸満」のグランドオープンをはじめ、名城に世界水準を誇る大型ホテルが開業したほか、糸満漁港に県内初となる高度衛生管理型荷捌施設「イマイユ市場」が開設しました。

こうした動きは、本市の発展に一段と弾みがつくものであり、あらゆる分野

の活性化に寄与するものと大きく期待しております。

ほかにも、ライフスタイルに合わせて女性の稼ぐ力の向上を目指す「糸満でじたる女子プロジェクト」や、西崎球場で開催された千葉ロッテマリーンズの春季2次キャンプが多くメディアに取り上げられ、全国に糸満市の取り組みをPRすることができました。

今後とも、本市の多彩な魅力を発信するとともに、地域資源や特性を生かしたまちづくりに取り組んでまいります。

令和5年度は、コロナ禍から地域経済や社会活動が立ち直り、糸満市がさらなる飛躍に向かう足固めの一年になります。

限られた財源の中ではありますが、目まぐるしく変化する社会情勢と多様化するニーズを的確に捉え、人と人のつながりづくりを大切に、市民の皆さまに約束した公約の実現や、本市の将来像である「つながりを深めチャレンジするまち糸満市」の実現に向けて、市政運営に鋭意取り組んでまいります。

◇基本姿勢

ここで、今後の市政運営に臨む基本姿勢について、申し上げます。

私は市長就任以来、「未来ある糸満市の子ども達に誇れるまちづくり」を実現するため、「市民に寄り添い、心の通った政治」を理念として、地域活性化や新しいまちづくり、子育て支援などに取り組んでまいりました。

これまで、市民の皆さまと約束した公約の取り組み状況につきましては、「今、そして未来の子どもたちに誇れる糸満市づくりに挑戦！」に掲げた 30 の公約のうち、29 の公約について達成または着手済みという状況であります。

引き続き、公約実現に取り組むとともに、行政運営の原点は市民本位であることを念頭に、現場に赴き、市民の皆さまの声を聴き、対話を重視する市政運営を目指してまいります。

糸満市がさらに繁栄し、にぎわいや活気のあるまちとなるよう「子どもの育み事業」、「真栄里地区の新たなまちづくり」についても、市民の皆さまとともに実現していきたいと考えております。

本市の人口は、毎年微増傾向ではありますが、子育てやまちづくりの中心となる生産年齢人口は減少傾向にあり、高齢化率は今後とも上昇していくことが予想されております。

増え続けている沖縄県の人口も 2022 年 9 月末までの 1 年間で、統計の残る中では初の「自然減」に転じたと報告されており、人口減少社会の到来が早まると危惧されております。

人口減少は地域の経済・産業活動の縮小につながり、税収は伸び悩み、その一方で高齢化の進行から社会保障経費の増加が見込まれていることから、本市の財政運営はますます厳しい局面を迎えることとなります。

このような課題を克服し、若者から選ばれるまち、生涯にわたり元気に生き生きと住み続けられるまちを目指して、活力ある糸満市づくりに邁進していくとともに、市民の皆さまのいのちと暮らしを守り抜くことを大きな使命として、将来をしっかりと見据え、重点施策や主要施策を推進してまいります。

◇重点施策

次に、重点的に取り組む施策について、ご説明いたします。

(1) 子どもたちの未来を拓く環境づくり

1つ目の重点施策「子どもたちの未来を拓く環境づくり」についてです。

すべての妊産婦、子育て世代、子どもの包括的な相談支援などを行う「子ども家庭センター」の令和6年度の設置を見据え、子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターとの連携を一層強化し、切れ目ない子育て支援の充実を図ります。

妊娠期から子育て期までの伴走型相談支援を推進するとともに、出産育児関連費用の負担軽減を図るため、妊娠届出後と出生届出後にそれぞれ5万円相当の経済的支援を行います。

教育・保育の質の向上や保育教諭の確保などを目的に、令和6年4月に公立こども園2園を公私連携幼保連携型認定こども園に移行します。今後、運営事業者へ丁寧な引継ぎを行い、子どもたちやご家族が安心して移行できるよう取り組みます。

放課後の安全・安心な居場所を確保するため、旧潮平こども園の建物を活用し、放課後児童クラブの設置に取り組みます。

喫緊の課題である待機児童の早期解消のため、保育士の処遇改善を行うほか、新たに県外からの保育士の採用を促す宿舍借り上げ支援事業や就職支援金事業を実施し、保育教諭の確保に取り組みます。

近年、特別な支援が必要な児童の増加が顕著となっています。このことを受け、保育教諭などの加配や巡回支援などを行うほか、新たに医療的ケア児の受け入れ態勢を整備します。また、市職員として公認心理師2名を採用し、専門職を含めた支援体制の構築を図ります。

中長期的な観点から教育行政を推進するため、教育を巡る諸課題の解決を図り、新たな視点と方向性を示す指針となる教育振興基本計画を策定します。

多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成するため、これまでに配布した個人用タブレットの積極的な使用とタブレットドリルの効果的な活用を推進し、ＩＣＴを生かした学習機会を提供します。また、小中学校の電子黒板の機能強化を図るなど、ＩＣＴ環境の整備を推進します。

就学援助について、新入学児童生徒学用品費の援助単価の引き上げを行い、対象者のさらなる支援に努めます。

(２) 笑顔があふれ、人が躍動するスポーツ先進都市の創造

２つ目の重点施策「笑顔があふれ、人が躍動するスポーツ先進都市の創造」についてです。

西崎運動公園の魅力や機能の向上を目指し、天候に左右されない屋内多目的運動場の整備を行い、市民の健康増進の場としての活用をはじめ、フットサル大会やゲートボール大会、キッズフェスタなどの開催に向けて取り組みます。さらに、Ｊリーグスタジアム基準を満たす陸上競技場のピッチサイズの変更を行うほか、ブルペンとしても活用できる複合施設や多目的広場東側の走路の整備などを行います。

これらの取り組みにより、幼児から高齢者まで幅広い世代が活用できる空間が創出されるとともに、プロ・アマチュアのキャンプや合宿をはじめ、沖縄県高等学校野球大会や各種競技の全国大会を誘致するなどスポーツツーリズムを推進します。

また、本市で日本パタンク選手権大会が開催されることから、地域経済の活性化や交流人口の拡大に努めます。

(３) 緊急事態に備え、防災・減災に取り組む

３つ目の重点施策「緊急事態に備え、防災・減災に取り組む」についてです。

潮平地域は、長年にわたり大雨時の冠水被害に見舞われ、市民生活に大きな影響を及ぼしてきました。今後の冠水被害の軽減を図るため、雨水が流れ込む西崎東水路のマングローブや堆積土砂の撤去に取り組むほか、上流域の阿波根土地改良区にある一部の未整備幹線排水路の整備を行い、斜面の洗堀による下

流域への土砂などの流出を防ぎます。

また、与座土地改良区の幹線排水路の一部が損壊していることから、機能の回復を行い、周辺の農地や農道への災害リスクの軽減を図ります。

さらに、武富ハイツ北側にある斜面において、急傾斜地の崩壊対策を行います。

「(仮称) 防災センター」を市庁舎に併設し、基幹設備や防災備蓄庫の浸水対策を行うほか、災害応急対策を行う執務室などの整備に取り組みます。

高規格救急自動車の更新や災害対応ドローンを導入し、消防・救急・救助資器材の充実を図ります。また、老朽化している防災行政無線を更新し、防災情報伝達手段の機能強化を図るほか、リニューアルするホームページで防災情報を分かりやすく発信します。

(4) ヒト・モノ・情報を呼び込む、真栄里地区での新たなまちづくり

4つ目の重点施策「ヒト・モノ・情報を呼び込む、真栄里地区での新たなまちづくり」についてです。

真栄里地区において、雇用拡大や定住促進などを目的としたまちづくりを推進するため、真栄里土地区画整理事業の都市計画決定に向けて取り組みます。また、同地区に交通結節点としての機能を有するターミナルゾーンを導入することで、市民や観光客の利便性の向上などに資すると考えられることから、必要な機能や施設の在り方について検討します。

ことし2月、南部病院跡地を土地開発公社が取得しました。ここに、「共助を育むまちづくり」を開発コンセプトとした市民ふれあいセンターゾーンと企業誘致促進ゾーンを導入し、交流・活性化拠点の形成を図ります。

具体的には、市民ふれあいセンターゾーンに防災と交流の拠点となる複合施設「(仮称) 福祉避難所兼市民ふれあいセンター」を整備するとともに、老朽化した社会福祉センターの機能を引き継ぐ「(仮称) 地域福祉センター」のほか、防災機能を備えた多目的運動場や緑地帯などの整備に取り組みます。また、企業誘致促進ゾーンに立地優位性を生かした産業用地の確保を行い、地域の活性化に資する企業誘致を促進します。

(5) 地域経済の回復に向けて

5つ目の重点施策「地域経済の回復に向けて」についてです。

商店会活動や商業の活性化に向けた取り組みを支援し、商店街や「いとま〜る」を中心としたにぎわいづくりを促進します。また、市営駐車場のゲートを増設し、「いとま〜る」へのアクセス性や利用率の向上を図ります。

観光農園において、新たな作物となるコーヒーやバナナによる事業展開や、自然を生かしたグランピング事業を促進し、さらなる誘客を図ります。併せて、酒造施設を活用し、市内産のマンゴーやパッションフルーツ、アセロラを使用した商品開発を促進します。

糸満漁港に新市場「イマイユ市場」や一次加工処理施設などが整備されたことから、関係機関と連携し水産業の振興を図ります。また、水産庁による糸満漁港内での航路浚渫に伴い、糸満地先での埋立事業が計画されていることから、新たに創出される埋立地の有効活用に向けて取り組みます。

市内事業者などと連携し、「糸満フェア」や県内外での物産展などを開催するとともに、市内事業者の「稼ぐ力」を高める取り組みを行い、地場産品の販路拡大に努めます。また、特産品として開発したクラフトビールについて、糸満の海産物料理と併せてPRすることで相乗効果を図り、認知度の向上や販路拡大に努めます。

「シャボン玉石けん くくる糸満」を拠点として、自然や文化など多彩で優れた観光コンテンツを提供し、観光ブランドの確立を図ります。

◇主要施策

次に、主な施策と事業について、総合計画の「目指すまちの姿」として示した6つの方向性に沿ってご説明いたします。

(1) 安心して産み育て、学び、文化・スポーツに親しむ糸満市

1つ目の主要施策「安心して産み育て、学び、文化・スポーツに親しむ糸満市」についてです。

子育て支援アプリ「母子モ」を活用し、スマホで簡単に妊娠届出の提出や乳幼児健診の予約ができるようにするなど、より便利で子育てしやすい環境づくりに取り組みます。

地域での子育て支援として、ファミリーサポートセンターによる相互援助の促進や、子育て支援センターなどでの保護者間の交流促進を図ります。また、子どもを養育することが困難になった場合など、一時的に養育・保護を行います。

子どもの貧困対策として、食事支援や学習支援を行うとともに、子ども食堂や学習支援に取り組む団体の活動を支援します。

ひとり親家庭の支援として、資格取得支援を行うなど社会的自立を支援します。また、養育費の取り決めに関する公正証書などの作成費用を補助します。

要保護児童やヤングケアラーなど、家庭環境に課題を抱えるケースの早期発見や適切な支援を行うため、相談支援体制などの強化を図ります。

地域住民や企業などが参画するPBL授業推進事業や、地域学校協働活動を推進するとともに、コミュニティ・スクールと連携を図り、地域全体で学びや成長を支える仕組みをつくります。

糸満南小学校の教室不足を解消するため、校舎の増築に向けて取り組みます。また、高嶺小学校移転改築事業を実施するほか、小中学校の特別教室や管理諸室など老朽化した空調施設を更新します。

児童生徒の「生きる力」を育むため、学習指導等支援員や英語指導助手を配

置するなど、各教科の基礎・基本の定着を図ります。

児童生徒の不登校や問題行動に対応するため、自立支援員などを配置します。また、スクリーニングにより支援を要する児童を早期に発見し、関係機関と連携した支援を行います。

教職員の事務負担軽減を図るため、校務支援システムの整備や中学校に部活動指導員を配置します。

民間の資金や経営能力などを活用するPFI方式での給食センターの整備に向けて、事業者募集や選定を支援するアドバイザリー業務に取り組みます。

中央図書館に来館できない方に対し、デジタル図書の貸出しや図書の宅配サービスを行います。また、利用者の安全・安心な学習環境を確保するため、塩害防止を目的とした外壁改修を行います。

歴史・文化資源を次世代へ継承するため、南山城跡と周辺遺跡群の国指定史跡に向けて取り組みます。また、糸満海人の漁撈具などの国の重要有形民俗文化財に向けた取り組みを行うほか、「糸満市史 村落資料－喜屋武村編－」の刊行に向けた編集作業を行います。

子どもたちが運動やスポーツに親しむことを目的としたイベント、SOMP Oボールゲームフェスタ2023「あそびバ!」を開催します。

(2) 市民みんなが心身ともにすこやかに暮らす糸満市

2つ目の主要施策「市民みんなが心身ともにすこやかに暮らす糸満市」についてです。

コロナ禍で特定健診やがん検診の受診率が低下したことから、健康ポイント事業を実施するほか、過去の受診歴や健診結果などからAIを活用して勧奨を行う対象者を抽出し、勧奨通知の送付などにより受診率の向上に取り組みます。また、生活習慣病予防や重症化予防に重点を置いた保健指導を行い、市民の健康づくりを推進します。

子どもの定期予防接種を無料で行い、感染症の発生やまん延予防を推進します。また、65 歳以上のインフルエンザや高齢者肺炎球菌の予防接種費用を助成し、発病、重症化予防を推進します。

子宮頸がん予防ワクチンは、予防効果が高いとされている9価ワクチンがことし4月から全額公費負担となることから、接種対象者に周知を図ります。

新型コロナウイルス感染症対策として、市内医療機関と調整し市民が接種しやすい環境整備に取り組めます。

国保だよりなどで適正受診や健康意識を高めるための情報を発信し、医療費の適正化や健康増進を図ります。

経済的に困窮している方に対し、住居確保給付金の支給や就労支援などを行います。また、新たに家計改善支援事業を実施し、家計を立て直すための支援を行います。

障害者施策の総合的で計画的な推進を図るため、「第5次障がい者計画」を策定します。また、障害のある方やそのご家族を総合的に支援するため、相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置します。

地域包括ケアシステム機能の深化や推進を図るため、「高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画」を策定します。

介護予防につながる通いの場の増加や、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業を行い、虚弱状態（フレイル）を予防し、健康寿命の延伸に取り組めます。また、介護予防につながる介護予防ボランティアポイント制度を実施します。

(3) 支え合って共に生きる平和のまち・糸満市

3つ目の主要施策「支え合って共に生きる平和のまち・糸満市」についてです。

警察や関係団体との連携の下、交通安全・防犯思想の普及を図るなど事件事故のない明るい社会づくりに取り組めます。

交通安全の充実を図るため、通学路や小学校に近接する横断歩道のカラー舗

装整備を行います。また、道路美化ボランティア活動を推進し、道路環境の整備に取り組みます。

消防力の強化として、消防広域化の推進や連携の在り方について協議を行います。また、消防団員の増員に向けて取り組みます。

関係医療機関との連携強化や救急資器材の充実を図るほか、救急隊員・救急救命士を研修に派遣するなど、救急体制の強化を図ります。

自主防災組織の結成を加速化する支援を行うとともに、自主防災組織連絡協議会による訓練の実施などで組織間の機能強化を図ります。併せて、地域で活躍する地域防災リーダーとして防災士の育成に努め、防災力の強化を図ります。

戦争の悲惨さと平和の尊さを正しく継承するため、平和ガイドの育成に取り組みます。また、育成した平和ガイドに活動の場を提供します。

市内に数多く点在する避難壕の風化が進み、崩落や落石などが発生し入壕が制限されている箇所があります。歴史的背景などを踏まえ、今後の在り方について検討します。

多様な価値観を認め合う社会の実現に向けて、制度や慣習に残る固定的な男女の役割分担の是正に取り組むほか、人権の尊重や男女共同参画社会に向けた意識づくりを行います。また、L G B T Qなど性の多様性に理解を深めるための啓発活動を行います。

(4) きれい！暮らしやすい！住みたいまち・糸満市

4つ目の主要施策「きれい！暮らしやすい！住みたいまち・糸満市」についてです。

ごみの減量化・資源化を図るため、3 R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進するとともに、資源ごみ袋を廃止します。また、新たに「ごみ分別アプリ」を導入することでごみの分別が簡単になることから、アプリの利用を促進し回収できないごみの減少に取り組みます。

まちの美化を推進するため、地域清掃や不法投棄の防止に取り組むほか、「花いっぱい運動」を展開し、花と緑いっぱいのまちづくりに取り組みます。

海洋環境の保全を図るため、海岸漂着物等地域対策推進事業を実施するほか、畑面の被覆やグリーンベルトなどにより耕土の流出を抑制します。

地域脱炭素の実現に向けて、脱炭素の取り組みの全国モデルとなる「脱炭素先行地域」として選定されるよう、区域の設定や企業との連携などに取り組みます。また、公共施設の脱炭素化の取り組みとして、南浜公園と西崎運動公園内屋内プールの照明をＬＥＤ化することで省エネ化を図り、ＣＯ２排出量を抑制します。

公害などの対策として、悪臭が発生した場合に関係者への指導を徹底します。また、人と動物が共存する社会に向けて、飼育される見込みのない野良猫のＴＮＲ活動を行うほか、飼い犬・飼い猫の不妊・去勢手術の費用を助成します。

インフラの整備として、県道平和の道線の早期整備を促進するとともに、市道真壁小波蔵線や市道与那堀線などの継続５路線に加え、新規路線の真栄里伊敷線の道路整備を行うほか、西崎北大橋など２基の長寿命化修繕事業を実施します。

上水道事業について、与座配水池の老朽化施設の整備を行うとともに、豊原・新垣地区の基幹管路の耐震化に取り組みます。

下水道事業について、潮平、阿波根の冠水対策として排水路の早期整備を行うとともに、処理施設の更新や未整備地区の污水管布設整備を行います。

農業集落排水の整備について、地区ごとの管路布設工事を推進し、処理区全体の供用開始を目指します。

農村集落基盤再編整備事業真壁西地区について、整備メニューに取り組み、良好な農村環境の保全に配慮した開発に努めます。

良好な住宅・住環境を形成するため、今後の建て替え事業で仮住居となる稲嶺原市営住宅Ｂ棟の建設工事を行います。また、真謝原市営住宅の建設に向けて基本設計を行います。

空家等の実態把握などを行うほか、新たな空家等の発生の抑制に努めます。また、空き地での雑草の繁茂などについて、管理者への指導を強化します。

良好な景観づくりや調和の取れた都市開発の誘導を図るため、市街化調整区

域における柔軟な土地利用ができるよう、都市マスタープランの改定を行います。また、風景づくり計画に基づくジョーグラー景観形成重点地区・イービンメン門の道路整備を行い、沖縄らしい風景づくりに努めます。

公園緑地の魅力向上を目指し、観光地公園環境美化強化事業を実施するとともに、都市公園長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の更新を行います。

(５) 豊かな資源をいかし、活気にあふれた糸満市

５つ目の主要施策「豊かな資源をいかし、活気にあふれた糸満市」についてです。

産業人材について、新規就農者の育成や確保を図るため、経営支援や施設整備などを行います。また、新規漁業者の創出や後継者の確保に取り組みます。

地産地消の推進について、本市の新鮮な農作物や水産物を学校給食に活用する地産地消食材提供事業を実施します。

農業の振興について、農地中間管理事業の実施により農地の集約・集積化に努めます。また、農地の出し手と受け手の情報などを色分けした「目標地図」を作成し、耕作放棄地の解消に努めます。

生産振興や台風などの被害軽減を図るため、沖縄型耐候性園芸施設整備事業などで施設整備を行います。

農業生産基盤施設整備や利用促進について、県営事業で実施している真壁東第２地区などの整備を促進します。また、真栄平地区などの改良区で実施中の湛水対策関連事業の推進と併せて、土地改良施設の適正な維持管理に努めます。

地下ダム受益地再編について、糸満南部地下ダム受益地区内の農地基盤整備未整備地区の整備の促進や、糸満北部地区への農業用水源確保に向けた国営地下ダム再編計画を推進するとともに、既存かんがい施設の利用促進に努めます。

持続的漁業の振興を図るため、漁場の管理やパヤオの整備などを行います。また、南部豊かな海づくり大会で稚魚放流やお魚つかみ取りを行うほか、漁船の乗船体験などを行い「つくり育てる漁業」を推進します。

糸満漁港の新市場「イマイユ市場」へ来港する漁船の増加に伴い、船員の福

利厚生施設などの必要性が高まっていることから、施設整備を促進します。

商工業の振興について、創業支援事業計画に基づき、商工会において経営発達支援事業を展開し、企業などのニーズに合った支援を行います。

観光の振興について、観光資源のブラッシュアップや広域観光を推進するほか、観光関連団体や他産業との連携による滞在交流型観光への転換を推進し、集客促進や観光消費額の拡大に取り組みます。また、「糸満ふるさと祭り」を開催し、観光客の誘客を図ります。

(6) 人と人の輪がつながり、みんなで動かす糸満市

6つ目の主要施策「人と人の輪がつながり、みんなで動かす糸満市」についてです。

協働社会の推進に向けて、市民活動支援センター事業を実施し、地域コミュニティの活性化に努めます。また、自治会集会所の広場の整備や備品などの購入助成を行い、地域の自治力強化に取り組みます。

税源確保のため、課税客体の把握や収納率の向上に努めます。また、エルタックスを利用した電子申告や電子納税など共通納税の税目拡充を図るとともに、コンビニやスマホ収納の促進を図り、利便性の向上に努めます。

ふるさと応援寄附について、官民連携による魅力的な返礼品の開発を行い、地元産業の活性化を図ります。

P P P / P F I の推進を図るとともに、公共施設等総合管理計画に基づき、財政負担の平準化と公共施設などの適正管理を行います。

情報発信の充実として、誰でも使いやすく、見やすいホームページを目指し、ホームページを全面リニューアルします。また、外国人を含めたすべての人に情報を届けるため、新たに多言語情報配信システムを導入し、広報いとまんをはじめとした市政情報について、10言語での電信配信を行います。

行政情報のデジタル化などに向けて、国が整備するガバメントクラウド上に構築する基幹業務システムの移行準備を進めるとともに、電子申請システムによる手続などのオンライン化を進めます。

市職員の育成について、計画的な職員研修を実施するほか、人事評価制度を推進し職務能力の向上などを図ります。また、緊急的な事象や変化に対応できる組織をつくるため、定員適正化計画に基づき、定数の在り方を含め適正な人員配置に向けた人材の採用を行うほか、従来の採用方法の見直しについて検討します。

総合計画や総合戦略について、PDCAサイクルに行政評価や外部有識者などの検証を組み込み、効果的な推進に取り組みます。

◇結びに

以上、基本姿勢、重点施策、主要施策をご説明してまいりました。結びに、申し上げました施策を含めた令和5年度の当初予算は、

一般会計では、

316 億 4,445 万円で、前年度と比べて 6.4%の増、

国民健康保険事業などの特別会計では、

138 億 7,187 万円で、前年度と比べて 3.7%の増、

水道事業などの企業会計では、

56 億 4,040 万円で、前年度と比べて 21.3%の増、

総計では、

511 億 5,673 万円で、前年度と比べて 7.1%の増

となります。

市民の皆さまならびに議員各位のご理解、ご協力をお願い申し上げ、私の施政方針といたします。

令和5年3月3日

糸満市長 當 銘 真 栄